

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式						
M212S201		小児看護学概論 (Introduction to Child Health nursing)					小児看護学								
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語		担当形態						
必修	1	2	医学部看護学科	前	金2	日本語			複数(共同)						
担当 教員	氏名 幸松美智子・江藤千晴														
	E-mail yukimats@ 内線 5075														
授業 の 概 要	子どもと家族がおかれている現状と健康上の問題、子どもと家族の健康を守るための法律・制度とその課題を理解し、子どもの権利擁護に対する専門職者としての姿勢と役割、小児看護学が果たすべき責務について学ぶ														
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)		1	2	3	4	5	6	7
目標1	小児看護の目的と対象、役割について説明することができる														
目標2	子ども観の歴史的変遷や医療における子ども観の問題を通して、自己の子ども観を洞察することができる														
目標3	小児と養育期の家族の成長・発達上の特徴や生じやすい健康問題を説明することができる														
目標4	小児期におけるセルフ・ケア能力の育成の重要性と現状の課題を理解し、解決に向けた方策について説明することができる														
目標5	子どもの権利条約を通して子どもの権利の現状と課題について述べるができる														
目標6	子どもの権利擁護と健全育成のために社会の中で果たすべき看護職者の役割を述べるができる														
目標7															
目標8															
目標9															
目標10															
各DPへの関連度(計10)							10		10	10			10	10	
授業の内容															
1	小児看護学とは														
2	子ども観の歴史的変遷と子どもの権利を擁護する小児看護学が果たすべき役割														
3	子どもの成長・発達の特徴とヘルスポモーション能力の育成														
4	乳児期の子どもの健康の現状と課題、支える法律・制度														
5	幼児期の子どもの健康の現状と課題、支える法律・制度														
6	学童期・思春期の子どもの健康の現状と課題、支える法律・制度														
7	養育期にある家族の現状と課題、支える法律・制度														
8	子どもと家族を支える看護職の責務とは														
9															
10															
11															
12															
13															
14															
15															
ラ ア ク ニ テ イ グ ブ	A:知識の定着・確認	A:小テスト・アクションレポート				工 夫 そ の 他 の	・動画や実践事例を用い、小児についての理解を深め、小児看護のイメージを拡げる ・学生が意見を述べる機会を設ける								
	B:意見の表現・交換	B:発問、グループ検討、課題レポート													
	C:応用志向	C:課題レポート													
	D:知識の活用・創造														
授 業 時 間 外 学 修 の 内 容 と 想 定 時 間	準備学修	今回の講義内容について、事前に配布するアクションレポートで予習する。(8h)													
	事後学修	授業で学習した内容に関連したアクションレポートを用いて授業の復習をする。(8h)													
	想定時間合計	16													
教科書	中野綾美【編】:ナースンググラフィカ 小児の発達と看護 小児看護学、メディカ出版、2022年 中野綾美(編):ナースンググラフィカ 小児看護技術 小児看護学、メディカ出版、2022年														
参考書	その都度提示する														

成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
		アクションレポート・課題レポート	20%									
	期末試験	80%										
注意事項	講義で配布されるアクションレポートは次の週の月曜日17時までに提出する											
備考												
リンク												
	URL											
担当教員の 実務経験の 有無												
教員の 実務経験	幸松美智子（看護師）江藤千晴（看護師・助産師）											
実務経験を いかした教 育内容	実際に臨床で起こっている問題を用いながら、小児看護学の責務や小看護職の児保健の課題への取り組みを考える機会を与える											